

# 平成24年度 第2回岡山県文化振興審議会 次第

日時：平成24年8月31日(金)

10時～

場所：ルネスホール

金庫棟2階ワークルーム

## 1 開 会

## 2 議 題

おかやま文化振興ビジョンの中間見直しについて

## 3 その他

○今後のスケジュール

○第10回おかやま県民文化祭について

## 4 閉 会

## 岡山県文化振興審議会委員

氏 名	役 職 名
あさの あつこ	作家
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科准教授
白井 洋輔	吉備国際大学文化財学部教授
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
神崎 宣武	民俗学者
越宗 孝昌	山陽新聞社代表取締役社長
佐々木 英代	岡山県演奏家協会副会長
澤田 虚遊	岡山県書道連盟会長
杉山 知子	美作大学生生活科学部教授
田野 智子	NPO法人ハート・アート・おかやま代表理事

(会長)

(副会長)

敬称略 50音順

# 平成24年度 第2回岡山県文化振興審議会

## 配 付 資 料

### ○資 料

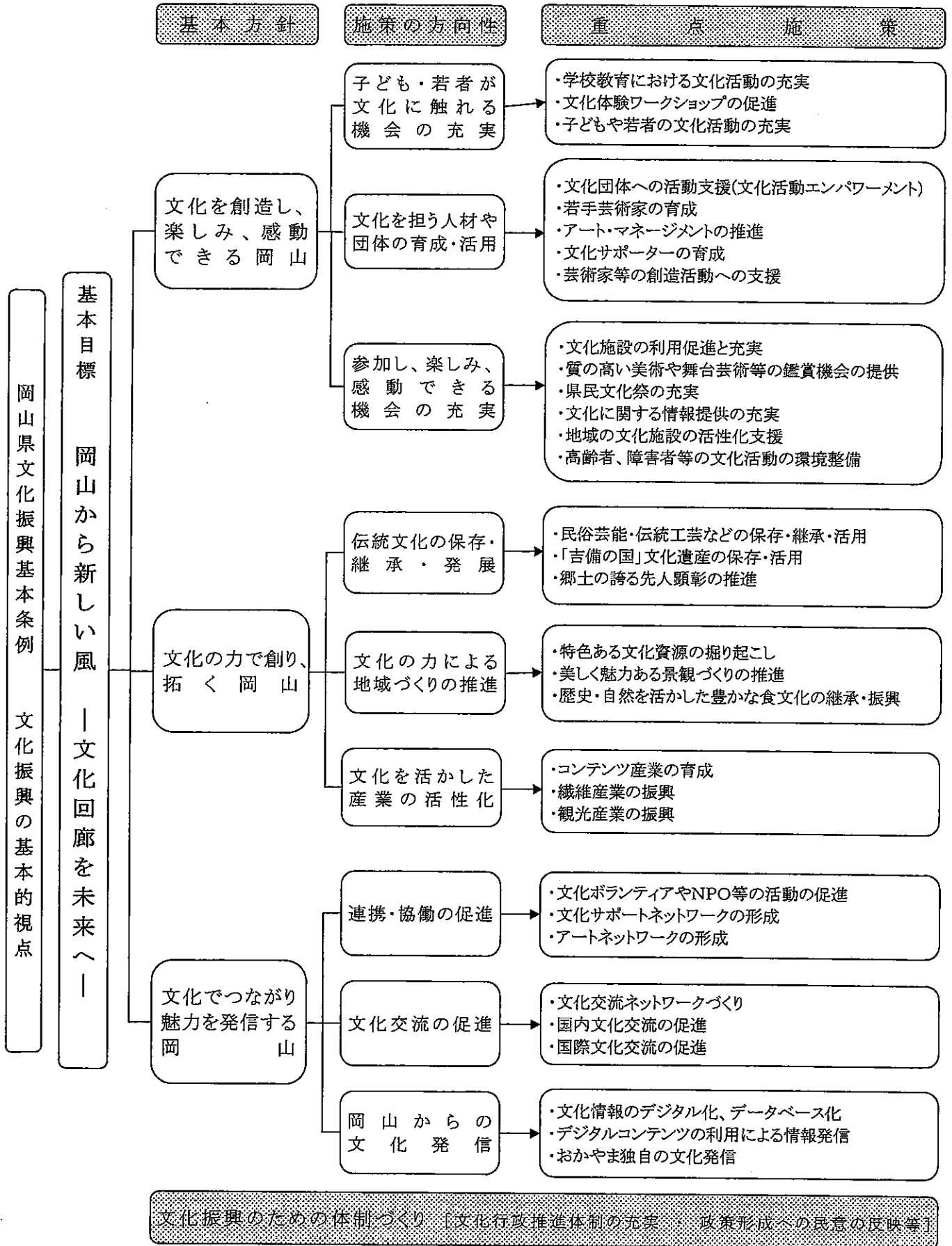
- |   |                      |   |       |
|---|----------------------|---|-------|
| 1 | 文化振興ビジョン施策体系         | … | P 1   |
| 2 | ビジョン見直しの方向性について      | … | P 2   |
| 3 | 文化振興ビジョンの見直し（素案）     | … | P 3   |
| 4 | 文化振興ビジョンにおける成果指標（素案） | … | P 2 4 |
| 5 | ビジョン見直しのスケジュール       | … | P 2 7 |

### ○参考資料

- |   |                  |   |       |
|---|------------------|---|-------|
| 1 | 第10回おかやま県民文化祭の概要 | … | P 2 8 |
|---|------------------|---|-------|



# おかやま文化振興ビジョン 施策体系



## ビジョン見直しの方向性について

文化の振興に当たっては、平成22年秋の国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や新たに始まった文化活動を地域に根付かせるとともに、伝統ある地域文化や県民の文化創造の力を守り育てていく必要がある。

こうしたことに加え、県政推進の羅針盤として、このたび策定した「第3次おかやま夢づくりプラン」に盛り込まれた施策を反映させることも必要であり、今回、次に掲げる点に留意して見直しを行う。

### ○基本的な柱は維持

「基本方針」や「施策の方向性」については、現行ビジョンをベースとする。

### ○重点施策の洗い直し

ビジョン策定後5年間の成果とその検証を踏まえて、重点施策を洗い直し、ブラッシュアップ

### ○策定後の変更点による修正

国民文化祭の成果を踏まえた記述の変更  
第3次おかやま夢づくりプランの反映

# おかやま文化振興ビジョンの見直し（素案）

## [ 目 次 ]

I	ビジョン策定改訂にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	これまでの経緯と改訂策定の趣旨	
2	位置づけ	
3	対象範囲	
4	期 間	
II	文化振興の基本的視点・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1	文化振興の基本的視点	
	（1）自由な発想と主体的な文化活動の尊重	
	（2）文化を創造し、享受することができる環境の整備	
	（3）芸術家等の育成	
	（4）県民の協働による文化の振興	
	（5）将来の世代への文化の継承	
2	県の役割	
III	基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	「岡山から新しい風－文化回廊を未来へ－」	
IV	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1	文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山	
2	文化の力で創り、拓く岡山	
3	文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）	
V	具体的施策・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1	文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山	
	（1）子ども・若者が文化に触れる機会の充実	
	（2）文化を担う人材や団体の育成・活用	
	（3）参加し、楽しみ、感動できる機会の充実	

- 2 文化の力で創り、拓く岡山
  - (1) 伝統文化の保存・継承・発展
  - (2) 文化の力による地域づくりの推進
  - (3) 文化を活かした産業の活性化
  
- 3 文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）
  - (1) 連携・協働の促進
  - (2) 文化交流の促進
  - (3) 岡山からの文化発信

VI 文化振興のための体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

- 1 文化行政推進体制の充実
- 2 政策形成への民意の反映等



# I ビジョン策定改訂にあたって

## 1 策定これまでの経緯と改訂の趣旨

岡山県では、平成12年3月に「文化の時代」とも言われる21世紀を展望した「岡山県文化振興ビジョン」を策定し、平成18年3月には、県民の主体的な文化活動を尊重し、多様な主体との協働により心豊かに生きることができる地域社会の実現を目指した「岡山県文化振興基本条例」を制定しました。そして、この条例制定を契機として、また、平成22年秋の「国民文化祭」の本県での開催に向け岡山の「文化の力」を高めるため、「おかやま文化振興ビジョン」を平成20年2月に新たに策定し、~~「人と地域が輝くおかやま文化」の創造を目指して、~~各種施策に取り組んできました。

この間、合併による市町村の広域化やIT化の進展など社会経済情勢も大きく変化し、文化による地域社会の活性化や国境・県境を越えた地域の人々との相互理解への期待も高まっています。

また、県では、平成16年の「県立図書館」、平成17年の「天神山文化プラザ」、「ルネスホール」などの開館や「岡山県文化連盟」の創設などハード・ソフトの両面から施策を実施し、着実に成果を上げてきました。

~~さらに、平成18年3月には岡山県文化振興基本条例を制定しました。この条例は、県民の主体的な文化活動を尊重し、県民、文化団体、芸術家、民間団体等との協働により、心豊かに生きることができる地域社会の実現を目指しています。~~

~~そのような中、県では、さらに、平成22年秋に開催した「第25回国民文化祭・おかやま2010」（愛称：「あっ晴れ！おかやま国文祭」。以下、愛称で表記する。）ではを開催もせず。その文化の祭典は、これまで蓄積された岡山の文化を活かし、新しい文化の創造や発展に取り組むとともに、全国へ向けて岡山の文化を発信する大きな機会となりました。~~

加えて、平成24年4月からの5年間の県政推進の羅針盤である「第3次おかやま夢づくりプラン」では、生活の質を重視し、心の豊かさを求めるニーズの高まりを受けて、基本戦略として「豊かで潤いのある暮らしづくり」を新たに設けており、その中で、「文化」は戦略プログラムの中核となるメッセージ施策や基本施策として掲げられています。

~~その新ビジョンは、今回、こうした本県文化を取り巻く社会経済情勢の変化等を踏まえながら、あっ晴れ！おかやま国民文化祭に向け岡山の文化の力を高めるとともに、その成果を活かして、本県文化の一層の振興を図る施策を効果的に展開していくために策定するこのビジョンを改訂するものです。~~

## 2 位置づけ

このビジョンは、岡山県文化振興基本条例第7条に定める「文化の振興に関する基本的な計画」としての役割を担うもので、長期的視点に立った今後の本県文化行政の施策の方向性を示すものです。

## 3 対象範囲

「文化」は様々に捉えられていますが、本ビジョンでは、岡山県文化振興基本条例に基づき、概ね次に掲げる芸術、生活文化、伝統文化などの各分野を対象としています。

さらに、文化の持つ力を活用した地域づくり・国際交流・産業振興・福祉・景観などの分野における取組も含めて検討しています。

(対象とする分野)

- ◇芸術（文学・音楽・美術・書道・写真・演劇・舞踊・工芸・デザインなど）、メディア芸術（映画・漫画・アニメーション・コンピュータなどを利用した芸術など）
- ◇生活文化（茶道・華道・囲碁・将棋・民芸・郷土料理・ファッションなど）、文字・活字文化
- ◇伝統文化（地域の歴史と風土の中で育まれてきた文化財・伝統工芸・民俗芸能・祭り・行事・方言など）

## 4 期間

平成20年度から平成29年度までの10年間とします。

なお、~~5年程度で平成24年度に中間見直しを行うこととします。~~い、内容を改訂して  
います。

## Ⅱ 文化振興の基本的視点

### 1 文化振興の基本的視点

このビジョンは、岡山県文化振興基本条例第3条に掲げた5つの基本理念を基本的な視点として策定します。

#### (1) 自由な発想と主体的な文化活動の尊重

現在は、芸術家が文化の創造を行うだけでなく、全ての人々が創造活動を行う時代になっています。こうした人間の自由な精神に基づいた多様な創造活動は、個人の生活の質を高め、その個性や創造性を引き出す原動力になります。

こうしたことから、県民一人ひとりの自由な発想と主体的な文化活動が尊重され、全ての人々が自由な発想を持って活動することにより、文化が活性化され、より豊かで特色ある創造的な地域文化が生まれるという視点を幅広く共有することが重要です。

#### (2) 文化を創造し、享受することができる環境の整備

文化を創造し、享受することは人々の生まれながらの権利です。県内どこに住んでいようと、誰もが等しく文化を創造し、享受することができる環境を整えていかなくではなりません。

近年、県内各地で公立文化施設等の整備が進められ、施設面では充実してきましたが、文化を享受する機会についてはまだ地域的に大きな開きがあります。

こうしたことから、文化に関する情報提供や各地域における文化を育む環境の整備を通じて、広く県民が様々な形の文化に触れ、文化の創造活動に参加できるとともに、創造性や個性を発揮しやすい環境をつくることが重要です。

~~さらに、いわゆる「団塊の世代」の人々が平成19年から平成20年まで一斉に定年退職を迎えることから、それらの人々が文化を享受し、地域の文化活動に参加していくための環境を充実することも重要です。~~

#### (3) 芸術家等の育成

多様で優れた文化を創造し、継承し、発展させていくためには、文化に関する創造活動に携わる芸術家、文化施設や文化団体で企画・研究等を行う学芸員やアートマネジメント担当者、文化財等の保存技能者や研究者、伝統芸能の伝承者などの活動が欠かせません。

こうしたことから、これらの人々が活動成果を発表する機会の確保に加えて、文化

に関する幅広い人材の育成や資質向上のための研修の充実を図ることが重要です。

#### (4) 県民の協働による文化の振興

文化は、地域の魅力を創造し、発展を牽引するなど豊かな地域づくりの礎になるとともに、人々に精神的な豊かさや感動を与え、生きる力と喜びをもたらすなど、様々な面で私たちの生活を支えているものです。

文化の持つこのような普遍的な力を入づくりや地域づくり、さらには地域産業の発展に活かしていくことが必要です。

また、文化活動を行うNPO等の増加、大学と地域の連携、文化活動を支援する企業のメセナ活動など、行政以外の分野でも、様々な取組が広がりつつあります。

こうしたことから、県民・文化団体・NPO・企業・大学など、様々な主体と行政が、目標を共有し、その目標に向かって、ともに力を合わせて活動する文化の振興が重要です。

#### (5) 将来の世代への文化の継承

岡山県は、緑深い中国山地から豊饒の平野、瀬戸内海へと至る豊かな自然や、四季折々の山海の幸に恵まれています。また、古くから交通の要衝として多彩な人物・文物が交流し、古代吉備の国の繁栄の遺産を連綿と受け継ぎながら、県内各地域において個性ある文化を形成してきています。

地域の歴史と風土の中で育まれてきた文化財・伝統工芸・民俗芸能・祭り・行事・方言などの伝統文化は、人々の暮らしを支える基盤であるとともに、全国・世界に誇りうる貴重な財産です。また、これらの伝統文化は県民の誇りと心のよりどころであり、県民の活力を高め、新しい価値を創造する源であるとともに、将来の地域発展の基礎となるものです。

このようなことから、県内各地の個性ある伝統文化や埋もれた文化資源を掘り起こし、県民共通の財産として尊重し、将来の世代に伝えていくことが重要です。

## **2 県の役割**

県の役割は、地域における文化振興の総合的なコーディネーターとして、芸術家等の育成支援や、県民や民間団体等の主体的な文化活動が活発に行われるような環境づくりを図るとともに、文化活動の成果がよりよい地域づくりに生活かされるよう努めていくことです。

このことを踏まえ、次の役割に重点を置き、施策を推進していきます。

### (1) 県民が文化に親しむ環境づくり

多くの県民が子どもの頃から各地域で様々な文化を楽しみ、感動し、文化活動に参加できる環境づくりに努めます。

### (2) あっ晴れ!おかやま国民文化祭を契機とした文化の継承・発展

~~平成22年秋に岡由県で開催される~~ あっ晴れ!おかやま国民文化祭 ~~への~~ 成果を継承・発展させ、これまで蓄積されてきた岡山の文化の継続性を活かして伝統的文化を取り入れながら、世代や分野を超えた新しい文化が創造され発展するよう支援するとともに、その成果を今後の充実した文化活動へと継承・発展させていく仕組みづくりに努めます。

### (3) 未来を創り、拓いていく担い手育成

将来の岡山の文化を担う子どもや若者らが、様々な文化を体験できる機会を充実するとともに、若手芸術家の育成など、未来を創り、拓いていく担い手の育成に努めます。

### (4) 「文化の力」の充実と活用

文化の持つ「人々を感動させ魅了する力」、「地域の魅力や価値を高める力」等に着眼し、その力を高めて地域づくり・産業振興・福祉などに生活かし、地域の活性化に努めます。

### (5) 文化ネットワークの形成

文化の持つ力を高め、文化活動を活発化させるため、人・もの・地域を結びつける仕組みづくりに努めます。

### Ⅲ 基本目標

#### 「岡山から新しい風 ー文化回廊を未来へー」

岡山県は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、古代吉備の国からの長い歴史を通じて、~~人~~人・もの・情報が活発に行き交う水陸の交通の要衝として栄えてきました。そうした中で、先人が育み守り伝えてきた独自の文化と、時代ごとに新たに創造された文化とが交流し、融合して、岡山の文化を形成しました。そして、今また、県民の自主的な文化活動や幅広い交流により、新しい文化が生み出されようとしています。

~~平成22年秋には岡由県で国民文化祭が開催されます。~~あっ晴れ!おかやま国文祭の成果を継承・発展させ、引き続き、文化の継承と創造に県民一人ひとりが自ら参加し、楽しみ、感動が渦となって、岡山ならではの新しい文化の風を起こしていくことが大切です。

その風が県内の様々な地域をめぐりながら、人と人との心をつなぎ、人と地域を元気にしていきます。そして、岡山を起点として全国へ、世界へと続く文化の回廊を、未来に向かって悠々と吹き渡っていく大きな風となるよう目指します。

## Ⅳ 基本方針

### 1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

県民一人ひとりが文化を創造し、楽しみ、感動する機会を平等に得られることが大切です。県内各地域では文化施設面は充実してきましたが、文化を鑑賞する機会や創造活動に参加する機会は地域で開きがあります。また、芸術家等が活動成果を発表する機会や、先人から受け継がれてきた郷土文化を世代や地域を越えて発信する場もまだ十分ではありません。このため、多くの県民が子どもの頃から各地域で伝承・創造活動に参加でき、文化を楽しみ、感動できる環境づくりに努めます。

### 2 文化の力で創り、拓く岡山

文化の持つ力は、県民の自信と活力を高め、新しい価値を創造する源であり、豊かな地域づくりに欠かすことができません。また、地域固有の歴史と風土の中で育まれてきた無形の祭りから有形の文化財に至る伝統文化や歴史的な景観、都市の景観、自然環境等は、県民の誇りと心のよりどころであり県民共通の財産です。

文化の持つ力でこれらの地域の魅力や価値をさらに掘り起こし、確実に未来に伝えていくとともに、地域産業の活性化やまちづくりなど、豊かな地域づくりに文化の力を生かしていきます。

### 3 文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）

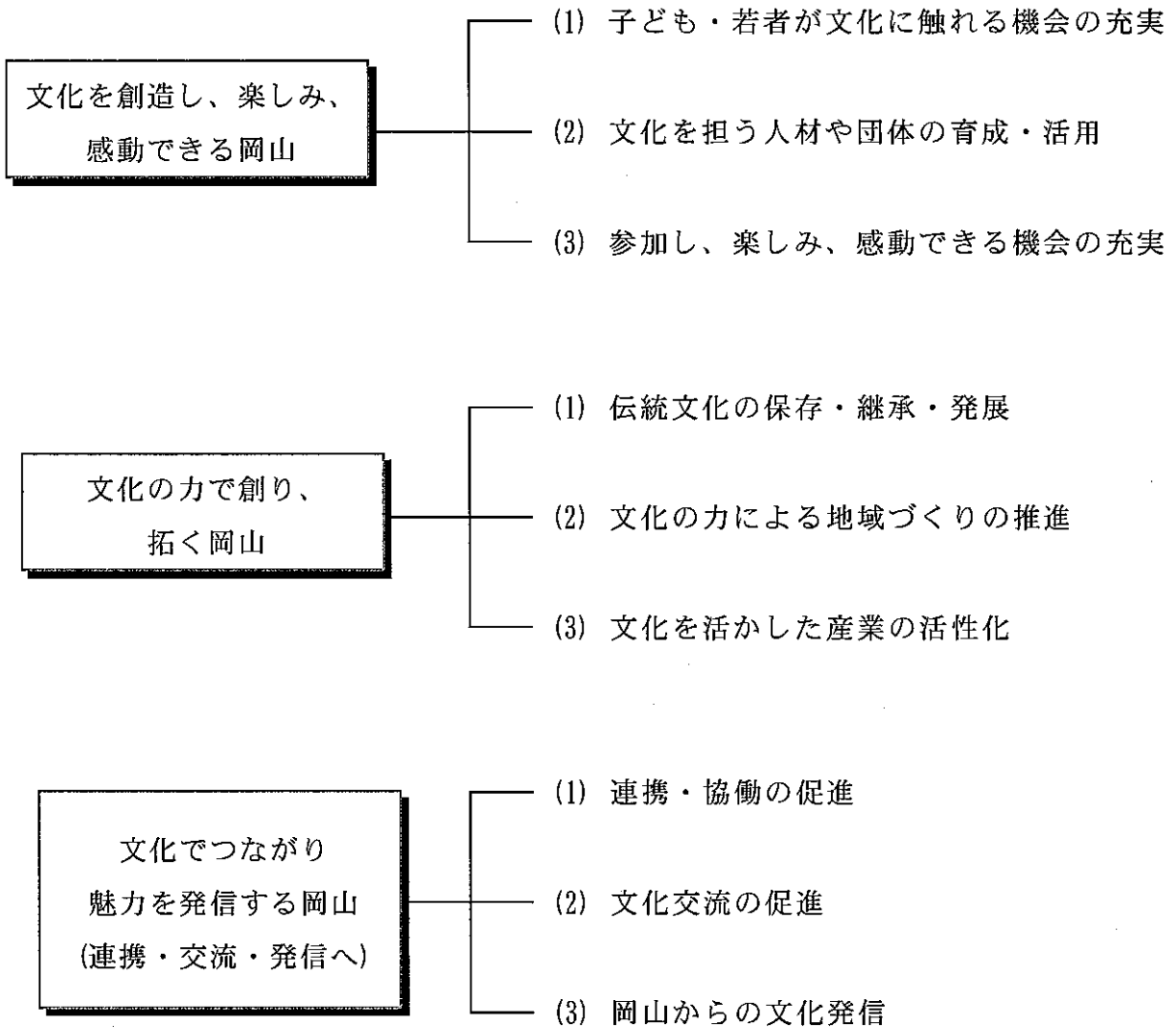
古くから交通の結節点となってきた岡山の歴史が語るように、人・もの・情報が活発に行き交う時代と地域にあってこそ多様な文化が融合し、向上し、新しい文化が育まれます。

また、芸術家等による質の高い文化は、人々に深い感動を与え、県民の心を豊かにします。さらに、地域固有の文化は、人々の心を結びつけ、相互理解を深める上で重要な役割を果たすものです。

文化による相互理解を促進し、世界の人々との連帯感を醸成するため、また、国内外における岡山の拠点性を高めるためにも、岡山の魅力伝える文化の積極的な発信と多様な文化の受信に努めます。

## V 具体的施策

### (施策体系)





## 1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

### (1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

次世代を担う子どもや若者の豊かな心と感性を育てるため、身近な学校や地域において、子どもや若者が本物の文化に触れ、その魅力を理解し、創造活動に参加できる機会の充実に努めます。

#### (重点施策)

##### ○学校教育における文化活動の充実

「総合的な学習の時間」など様々な学習機会を活用して、芸術や伝統文化等に親しむ教育の充実や、児童生徒が発表する機会の充実を図ります。

また、学校の各教科等の授業や文化部活動の活性化を図るため、音楽や美術の指導を行う教員の資質向上を図るとともに、優れた地域の芸術家や文化活動の指導者などと教員が協力して、様々なプログラムを作成し指導ができる体制づくりを行い、学校における芸術教育や文化活動の充実を図ります。

さらに、学校文化部活動の活性化を図るため、小・中学校における活動や岡山県高等学校芸術文化連盟<sup>※1</sup>等への支援の充実に努めます。

##### ○文化体験ワークショップの促進

文化のすばらしさを体験し豊かな心と感性を育てるため、子どもや若者が地域で活躍する芸術家等とふれあったり、芸術・伝統文化・生活文化を身近に体験できるワークショップ等の活動を促進します。

##### ○子どもや若者の文化活動の充実

子どもや若者を対象とした文化公演等への支援を行うとともに、民間団体等との連携などにより文化活動の場や機会の充実に努めます。また、学校等と連携し、県立美術館や県立博物館などの文化施設によるアウトリーチ活動<sup>※2</sup>の充実に努めます。

※1 岡山県高等学校芸術文化連盟：高等学校における芸術文化活動の健全な発展を図るとともに、情操豊かな生徒を育成することを目的とした県内高等学校の組織で、岡山県高等学校総合文化祭や国際交流事業等の活動に取り組んでいます。

※2 アウトリーチ活動：アウトリーチの本来の意味は、手を伸ばすこと。日頃、文化に触れる機会が少ない人々への文化施設などが館外で行う普及活動をいいます。

## ○郷土の歴史や文化財に親しむ機会の充実

岡山ゆかりの人物や文化財をわかりやすく紹介するガイドブックの作成など、子どもや若者が、郷土の歴史、伝統芸能、文化財に親しむ機会の充実を図ります。

## (2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

県民による文化活動の充実を図るため、文化活動を担う人材及び民間団体等の育成及び活用に努めます。また、次世代を担う新進芸術家が活動成果を発表する機会の充実に努めます。

(重点施策)

### ○文化団体への活動支援（文化活動エンパワーメント<sup>※3</sup>）

文化団体による幅広い文化活動に対し、国、芸術文化振興基金<sup>※4</sup>などの制度の活用や公益社団法人岡山県文化連盟<sup>※5</sup>などと協力して支援を行います。

### ○若手芸術家の育成

次世代を担う若手芸術家の育成を図るため、新進美術家を対象とした岡山県新進美術家育成「I氏賞」の活用、県内外の留学・研修制度等に関する情報提供や活動成果を発表する機会の充実を図ります。

また、演劇等の基礎や技術を磨いていくために必要となる舞台などの発表の場の提供を行います。

### ○アート・マネジメント<sup>※6</sup>の推進

---

※3 文化活動エンパワーメント：文化団体等が十分に力を発揮できるよう、活動を支援することです。

※4 芸術文化振興基金：芸術団体等が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化の振興を図るための活動に対する援助を行うことを目的に平成2年に創設され、653億円の基金を原資として、その運用益をもって芸術文化活動に対する助成を行っています。

※5 公益社団法人岡山県文化連盟：芸術・文化関係の団体の相互連携と自主的活動の充実促進を図り、芸術・文化の普及振興に寄与するため平成17年6月に設立（平成19年6月に法人化）され、平成24年4月に公益社団法人化されました。現在、県レベルの文化団体など96団体の会員により構成されています。

※6 アートマネジメント：文化施設の運営や文化団体の活動、あるいは、文化関係の催しに対し効果的で大きな成果を上げるための活動の総称。具体的には、企画制作、管理関係業務、広報活動などが含まれます。

新たな文化の創造に資するよう、文化施設・文化団体の担当者~~＝、~~舞台技術者~~＝、~~学芸員などを対象に資質向上のための研修や交流機会の充実を図ります。

また、地域における文化活動を支えていけるよう、市民レベルで、企画、制作、演出などができる人材の育成・活用を促進します。

#### ○文化サポーターの育成

様々な分野の文化活動をサポートする人材を育成、活用し、~~平成22年秋に岡由県で開催されるあつ晴れ!おかやま国民文化祭での成果を継承・発展させ、~~において成果が発揮されるとともに、その成果を今後の充実した文化活動へと継承・発展させるように努め結びつけます。

#### ○芸術家等の創造活動への支援

地元の芸術家等による文化の創造成果が広く県民に親しまれるよう、市町村や地域住民と協力しながら、おかやま県民文化祭をはじめとした活動の場の充実に努めるとともに、芸術家等が文化活動の場や県内外の助成制度、文化活動などの各種情報を入手できるよう、情報提供や相談・助言等の窓口機能の充実を図ります。

こうしたことを通じ、地域における文化活動の質を高めるとともに、裾野の拡大を図ります。

### (3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

広く県民が、身近なところで文化についての理解及び関心を高め、質の高い文化を鑑賞するとともに、文化の創造活動に参加できるような環境の整備を進め、優れた地域文化の形成に努めます。

(重点施策)

#### ○文化施設の利用促進と充実

県立美術館、県立博物館、天神山文化プラザ、ルネスホール、県立図書館、生涯学習センター、県立記録資料館などの文化施設の利用促進に努めるとともに、全ての人々に利用しやすく多様なサービスを効率的に提供できる地域の文化の拠点となるよう、様々な手法を活用し文化施設の充実を図ります。

また、県民が身近に文化活動を行うことができる場の充実を図るため、学校の空き教室や廃校施設、歴史的建造物、公共空間、商店街の空店舗等についても、県民や地域の文化関係者の文化活動への幅広い利用を促進します。



### ○地域の文化施設の活性化支援

地域住民の文化活動の拠点施設について、文化活動に必要な情報提供、文化施設相互の連携促進を図るとともに、各種助成制度なども活用して文化施設の活性化を支援します。

### ○高齢者、障害者のある人等の文化活動の環境整備

高齢者、障害者のある人等の文化活動の充実を図るため、施設のユニバーサルデザイン化や利用料・入館料の軽減など多様な人々のニーズに応じた工夫や配慮等を行い、文化活動が活発に行われる環境づくりを推進します。

## 2 文化の力で創り、拓く岡山

### (1) 伝統文化の保存・継承・発展

岡山県には、「岡山後楽園」をはじめ、「吉備津神社」、「旧閑谷学校」などの文化財や「備前焼」、「備前刀」などの伝統工芸、「備中神楽」や「横仙歌舞伎」などの伝統芸能など全国に誇る豊かな伝統文化があります。このような穏やかで恵み豊かな自然・風土、古代吉備の国以来、各時代に多彩な文化を育ててきた岡山県の歴史を物語る文化遺産を、県民共通の財産として適切に保存し、その中に含まれる先人の知恵を汲み出し、本質を学び、そして次世代に継承するとともに、今に生きる文化として発展させ、積極的な活用を図ります。

#### (重点施策)

#### ○民俗芸能・伝統工芸などの保存・継承・活用

地域の祭り、民俗芸能、伝統行事、伝統工芸技術、先人が日常生活の中で伝えてきた知恵などの保存・継承を図るため、これらの保存・継承のための調査を推進するとともに、伝統工芸展や民俗芸能の祭典等の発表機会への参加促進や、後継者の育成、保存団体のネットワーク化を推進します。

#### ○「吉備の国」文化遺産の保存・活用

「吉備の国」の豊かな文化遺産を体感できるよう、県民が歴史や文化に触れ、親しむ機会を充実します。また、文化遺産に対する関心や理解の促進のため、県・市町村が連携して、主要な遺跡や建造物等の文化遺産の保存・活用を図るとともに、

世界遺産登録に向けての取組についても協働して推進します。

さらに、地域の文化財保護団体との連携によるボランティアの育成・活用など、文化財保護活動の充実を図ります。

#### ○郷土の誇る先人顕彰の推進

郷土の先人の功績をたたえ次世代に伝えていくため、先人の功績の記録・顕彰、遺品・資料の収集及び公開を推進します。

### (2) 文化の力による地域づくりの推進

地域の風土に根ざし、先人が守り伝えてきた様々な伝統文化や、地域固有の全国に誇りうる文化資源を改めて認識し、NPO、大学や、企業等と連携しながら、地域で芽吹く新たな創造活動の活性化に努め、文化の力による地域のにぎわいと輝きの創出を促進します。

(重点施策)

#### ○特色ある文化資源の掘り起こし

伝統文化、優れた景観、地域の歴史を素材とした文化活動などは、再評価や有効活用により、地域を特徴づけるシンボルとなります。このような県内各地に存在する特色ある文化資源を幅広く掘り起こし、さらに発展させ、ブランド化を図るなど、平成29年秋に岡由県で開催される国民文化祭を契機として積極的に全国へ向け発信していくとともに、地域づくりへ活用していきます。

また、美作国<sup>みまがのくに</sup>建国1300年など歴史的な節目の機会を捉え、地域の歴史、文化についての意識を深める事業の実施等により、地域の活性化を図るとともに、情報を発信していきます。

#### ○文化による地域のにぎわい創出

空き店舗や空き家等を活用したアートプロジェクトの実施や、アーティストや地域の文化関係者などによる文化の拠点づくりの取組を促進するなど、文化による地域のにぎわい創出を図ります。

#### ○美しく魅力ある景観づくりの推進

地域に残る歴史的な建造物や魅力ある町並み、美しい自然や調和の取れた都市の景観は、人々の情緒・感性を豊かにし、潤いと安らぎを人々に与えます。

このような地域が誇る風景や自然、地域の特色ある生活などの文化資源を活用して美しく魅力ある景観づくりを推進します。

#### ○歴史・自然を活かした豊かな食文化の継承・振興

豊かな自然に育まれた桃・ぶどう・鱈・牡蠣などの農林水産物やそれらの食材を使った多彩な郷土料理など、ふるさとの食文化の継承・普及に努め、特色ある食文化の振興を図ります。

### (3) 文化を活かした産業の活性化

地域の文化資源に内在する先人の英知や創造性などを活用して、観光産業・繊維産業をはじめ、地域の魅力を効果的に発信するコンテンツ産業などの振興・育成に努めます。

(重点施策)

#### ○コンテンツ産業の育成

~~次世代の成長産業として~~今後の事業発展が期待されるコンテンツ産業の育成・振興を図るため、デザインや情報専門学部(学科)を有する大学や県内IT企業等の協力により、~~コンテンツクリエイターの育成体制づくり~~など人材の育成や地域コンテンツ情報の発信等を通じてコンテンツ産業の育成支援体制を強化します。

#### ○繊維産業の振興

伝統に基づくものづくり技術や豊かな感性を活かし、技術開発や人材育成、~~一~~産地ブランド化を総合的に推進し、生活文化であるファッションに大きく寄与している繊維産業を伝統分野から高度先端分野まで幅広く対応できる産業へ飛躍させる取組を進めます。

#### ○観光産業の振興

伝統文化などの地域固有の文化資源を掘り起こし、新たな観光資源として積極的に活用することにより、魅力ある観光地づくりに努めます。また、文化振興と観光振興部門の連携を図ることにより、地域文化の魅力を伝える観光や、観光PRを活用した地域文化の情報発信を促進します。

## 3 文化でつながり魅力を発信する岡山(連携・交流・発信へ)

## (1) 連携・協働の促進

文化の持つ力を高め、文化活動の広がり及び質の向上が促進されるよう、文化活動に関わる県民、芸術家、民間団体、文化を支援する企業、NPO及び市町村などの様々な主体のネットワークづくりに努めます。

(重点施策)

### ○文化ボランティアやNPO等の活動の促進

ボランティアコーディネーターの育成やボランティア活動の情報提供、NPO等を対象にした提案公募型事業などにより、文化ボランティアやNPOなど県民による文化を支援する活動の促進や高齢者が次代を担う子どもや若者に文化を伝承する仕組みの検討を行います。

### ○文化サポートネットワークの形成

様々な分野の芸術家や文化団体関係者等が活動できる環境をサポートするため、研修機会の充実を図るとともに、情報交換や交流を通じて文化活動の運営や企画を支える人材のネットワークづくりを推進します。

### ○アートネットワークの形成

県内美術館等のネットワークを強化し、巡回展や共同イベントの実施、周遊割引券等の特典制度の導入等により、県内各地で魅力的な文化に触れられる環境づくりを促進します。

## (2) 文化交流の促進

文化の交流を通じ、地域の文化活動の活発化や人々の相互理解を深めるため、県内各地の特色ある文化、伝統行事など地域の文化資源を活用した地域間交流、アジアを中心とした世界の諸地域との交流などを促進します。

(重点施策)

### ○文化交流のネットワークづくり

文化交流のネットワークづくりを図るため、香川県をはじめ中四国各県と協働した環瀬戸内海文化連携、中四国文化の集い、~~中四国伝統芸能フェスティバル~~中国・四国ブロック民俗芸能大会など各種事業の他県との共同実施を推進します。



### ○国内文化交流の促進

平成22年秋に岡由県で開催されるあつ晴れ!おかやま国民文化祭により培われきた、分野や世代を超えた文化団体や人々の交流の広がりを通じて、県内外の文化交流や全国大会への参加を促進するとともに、文化関係の全国大会や中四国大会などの誘致を推進します。

### ○国際文化交流の促進

異文化への理解を促進するとともに、文化が持つ普遍的な力により、言葉の壁を超えた文化の交流を進めます。

また、県内各地の特色ある文化資源を活用した地域・住民レベルでの国際交流や、友好（姉妹）都市交流等の促進を図るため、国際理解の促進、文化交流に関する取組事例の普及や情報提供などに取り組みます。

## (3) 岡山からの文化発信

国内外における岡山の拠点性を高めるため、メディア等の効果的な活用や人的交流を通じて、伝統文化から現代文化まで、多様な文化の魅力の国内外へ向けた積極的な発信を推進します。

(重点施策)

### ○文化情報のデジタル化、データベース化

美術品や文化財等の積極的な公開・展示を進めるため、映像技術やインターネットを活用した記録・保存・公開を図り、情報発信を推進します。

### ○デジタルコンテンツの利用による情報発信

デジタル画像技術を駆使したオリジナル作品をはじめ、郷土岡由をテーマにしたデジタル映像作品を対象とした映像コンテンツの開催や郷土岡山に関するデジタルコンテンツを収集・作成し、「デジタル岡山大百科」により全国への情報発信と岡由の映像文化の向上に努めます。

### ○おかやま独自の文化発信

平成22年秋に岡由県で開催されるあつ晴れ!おかやま国民文化祭により培われきた文化団体や人々の交流の広がりを通じて、岡山の文化情報の発信やイメージアップ

につながる国際的な芸術祭の開催国際交流を盛り込んだ芸術プロジェクトを検討します。

## Ⅵ 文化振興のための体制づくり

### 1 文化行政推進体制の充実

文化の分野の広がりや文化振興の多様化を踏まえ、県の各部局の緊密な連携・協力により、文化の総合的なコーディネーターとしての役割を担えるよう、総合的な文化振興を推進するとともに、文化活動の調査・分析などの支援に努めます。

また、公益財団法人岡山県郷土文化財団<sup>※9</sup>や公益社団法人岡山県文化連盟などと連携を強化するなど効果的な文化行政を推進します。

さらに、~~平成29年開催の~~あっすれ!おかやま国民文化祭の成功に向けてを踏まえて、県民・芸術家・文化団体・NPO・企業・大学・市町村などとの協働による推進体制を整備するとともに、その成果を活かしながら、本県文化の一層の振興を図る施策を効果的に展開していくための仕組みづくりに努めます。

(重点施策)

#### ○文化的視点をもった施策の推進

セミナーの開催等により文化意識の向上を図るとともに、文化的視点を導入した行政施策の推進を図ります。

### 2 政策形成への民意の反映等

文化行政を推進する上で、県民の多様なニーズを把握することが重要であることから、文化の振興に関する施策形成や事業実施に際して、文化振興審議会の意見聴取、有識者等の積極的活用による県民の多様な意見の反映に努めます。

また、現在の厳しい財政状況が続く中では県全体の事業について選択と集中を図る中、

※9公益財団法人岡山県郷土文化財団：優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与するため、昭和54年10月に設立され、平成24年3月に公益財団法人化されました。自然・文化財保護事業、地域文化振興事業、後楽園等の文化施設の管理運営事業などを行っています。

文化振興の施策についても適切な評価を行い、支援の重点化と効率化を図る必要があることから、文化振興審議会の意見も聴きながら事業効果の把握に努め、各施策を評価し、事業実施に反映します。

## 文化振興ビジョンにおける成果指標(素案)

### 1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

#### (1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
学校行事で県立美術館を訪れた人数	4,104人 (H23年度)	4,400人	文化振興課	
ワークショップ参加者数 (県立美術館、天神山文化プラザ)	589人 (H21～H23平均)	700人	文化振興課	
アウトリーチ活動実施回数 (県立美術館、県立博物館)	25回 (H21～H23平均)	26回	文化振興課 文化財課	

#### (2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
あっ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	文化振興課	
文化関係各種助成金の採択件数	22件 (H23年度)	25件	文化振興課	
文化施設担当者研修会への参加者数	143人 (H23年度)	150人	文化振興課	
岡山県美術展覧会への出品点数	3,272点 (H23年度)	3,500点	文化振興課	
岡山県文学選奨への応募作品数	539件 (H23年度)	550件	文化振興課	24年度 募集中

#### (3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
文化施設利用者数(※)	531,106人 (H23年度)	700,000人	文化振興課	
美術館講座等への参加者数	1,646人 (H23年度)	2,500人	文化振興課	
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校 (H23年度)	475校	生涯学習課	23年度 からの 累計
県民文化祭参加者数(※)	252,914人 (H23年度)	350,000人	文化振興課	
「おかやま文化の駅」アクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	文化振興課	

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

## 2 文化の力で創り、拓く岡山

### (1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
日本伝統工芸展への応募点数	146点 (H23年度)	150点	文化振興課	
登録文化財の登録件数	251件 (H23年度)	300件	文化財課	
後楽園の入園者数	664,503人 (H23年度)	765,000人	都市計画課	

### (2) 文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
おかやま県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人 (H23年度)	40,000人	文化振興課	
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政 団体数	7団体 (H23年度)	10団体	環境企画課	
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗 (H23年度)	290店舗	対外戦略推 進室	

### (3) 文化を活かした産業の活性化

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
IT・コンテンツ人材育成研修への参加者数	36人 (H23年度)	200人	産業振興課	
観光客入り込み数(※)	2,337万人 (H23年)	2,800万人	観光課	

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

### 3 文化でつながり魅力を発信する岡山

#### (1) 連携・協働の推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
おかやま県民文化祭地域フェスティバル 実行委員会への参加団体数	34団体 (H23年度)	40団体	文化振興課	
あっ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	文化振興課	再掲
おかやま県民文化祭参加事業数	125団体 (H23年度)	150団体	文化振興課	
県立美術館ボランティア数	81人 (H24年度)	85人	文化振興課	

#### (2) 文化交流の促進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
国民文化祭への派遣団体数	18団体 (H24年度)	20団体	文化振興課	
国際文化交流事業に参加した生徒数	— (H23年度)	900人	生涯学習課	24年度 からの 累計

#### (3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	担当課	備考
文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域に なっていると感じる人の割合(※)	25.6% (H23年度)	55%	政策推進課	
「おかやま文化の駅」アクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	文化振興課	再掲
内田百閒文学賞への応募作品数	340件 (H24年度)	350件 (H28年度)	文化振興課	隔年
ラジオ番組による文化情報等の発信回数	— (H23年度)	100回	文化振興課	24年度 からの 累計

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

## ビジョン見直しのスケジュール

H24

2月

文化振興審議会  
新たな委員の選任、意見交換

6月

文化振興審議会  
ビジョン見直しの「方向性」について協議

8月

文化振興審議会  
ビジョン見直しの「素案」について協議

10月

※概ね1カ月

パブリックコメントの実施  
ビジョン見直しの「素案」について意見を公募

12月

パブリックコメントの結果公表  
寄せられた意見と県の考え方を公表

H25

1月

文化振興審議会  
ビジョン見直しの「最終案」について協議

2月

文化振興ビジョンの見直しを決定

## 第10回おかやま県民文化祭の開催について

県民の文化への関心の高まりや文化団体相互の交流とネットワークの形成など、国民文化祭の開催により得られた成果を継続・発展させ、県民の文化活動の成果発表の場として、また県民が文化に親しみ、文化を核とした地域づくりが促進されるよう、9月から11月にかけて県民総参加の文化の祭典「第10回おかやま県民文化祭」を開催する。

### 1 メインフェスティバル 「あっ晴れ！おかやま文化☆みらい祭」

#### (1) 倉敷市芸文館ホール会場

##### ① 舞台公演 (ホール)

- ・期日：平成24年9月23日(日) 13:00～16:30
- ・内容：
  - ・オープニング：バレエとピアノの共演
  - ・式典
  - ・とこはい下津井節「あっ晴れ組」
  - ・合唱、弦楽、吹奏楽
  - ・倉敷市出身 松本和将ピアノ演奏

##### ② 華道展「備中の秋」 (ロビー)

- ・期日：平成24年9月23日(日) 10:00～17:00

#### (2) 芸文館アイシアター会場

- ・期日：平成24年9月22日(土) 16:00～20:00、9月23日(日) 13:00～15:30
- ・内容：バンドコンテスト

ジュニア芸術祭(和太鼓、吟剣詩舞、箏曲、代官ばやし、民話の語りなど)

#### (3) 芸文館屋外広場

- ・期日：平成24年9月22日(土) 11:00～18:00、9月23日(日) 10:00～17:00
- ・内容：アートパザール、演奏、屋台「備中の麺々」

#### (4) 倉敷まちなかプログラム(美観地区界限)

- ・期日：平成24年9月9日(日)～9月23日(日)
- ・内容：シンポジウム、コンサート、映像上映、物販など

### 2 地域フェスティバル 「文化がまちに出る！プロジェクト」

**備前地域** 「文化がまちに出る！プロジェクト in 備前」(岡山市)

開催期間 平成24年9月～11月

主催事務局 文化がまちに出る！プロジェクト in 備前実行委員会(構成：11団体)

主な事業 まちかどコンサート(9/16、11/18)、ドビュッシー生誕150年に寄せて(10/21)、電車カメラ(11/24・25)など

**備中地域**

①「文化がまちに出る！プロジェクト in Soja」(総社市)

開催期間 平成24年9月～11月

主催事務局 文化がまちに出る！プロジェクト in Soja実行委員会(構成：5団体)

主な事業 れとろーど(9/22・23)、温羅まつり(11/11)、総社の美術/12の力(11/19～24)など



②「文化がまちに出る！プロジェクトIN高梁「高梁がおもしろい」(高梁市)

開催期間 平成24年8月～11月

主催事務局 文化がまちに出る！プロジェクトIN高梁実行委員会(構成：15団体)

主な事業 吹屋ベンガラ灯り(9/22)、たかはしお城まつり(10/6～11/4)、  
頼久寺ガーデンコンサート(10/20)等

**美作地域** 「美づくりの里・旅するアート」(奈義町・美作市・西粟倉村・勝央町)

開催期間 平成24年9月2日(日)～12月16日(日)

主催事務局 美づくりの里・旅するアート実行委員会(構成：12団体)

主な事業 9名のアーティストが異なる会場・季節の中で作品を制作・展示するとともに各地域の芸術・文化イベントと連動したワークショップを開催  
奈義会場(9/2～17) 大原・東西粟倉会場(9/27～10/8)  
勝央会場(11/16～25) 湯郷会場(11/30～12/16)

3 分野別フェスティバル

内 容	時 期	会 場
分野別団体による成果発表 14事業	8月～11月	県内各地

4 「アートの今・岡山 2012」

テ ー マ：「風景をこえて」

開催場所・開催日：

岡山県天神山文化プラザ…11月21日(水)～12月2日(日)

高梁市歴史美術館…12月8日(土)～12月24日(月・祝)

奈義町現代美術館…平成25年1月6日(日)～2月11日(月)

内 容：岡山ゆかりの若手作家10名による現代美術作品を紹介

5 中四国文化の集い

テ ー マ：「中四国神楽フェスティバル in ひろしま」

開催場所：上野学園ホール(広島市)

開催日：平成24年9月9日(日)

内 容：中四国9県を巡回しながら文化交流事業を開催。今年度は各県を代表する神楽団が出演。

6 第2回おかやま文化フォーラム(歴史文化講演会)

テ ー マ：「見えてきた古代吉備の実像」(仮題)

開催場所：岡山県立大学講堂

開催日：平成24年11月10日(土)

内 容：第一部 基調講演 鈴木靖民(横浜市歴史博物館館長、國學院大学名誉教授)

演題「東アジアの中の古代日本と吉備」

第二部 パネルディスカッション(コーディネータ 神崎 宣武)

## 7 特別事業 「岡山芸術回廊」

### メイン会場

開催場所：後楽園・岡山城および岡山カルチャーゾーン一帯

開催日：平成24年11月3日（土）～12月2日（日） 30日間

主な事業

- ①特別展「つながるけしき」  
県内外の17名の作家によるアート作品の展示とワークショップの開催
- ②パフォーミングアーツ「場所と記憶」  
演劇、ダンス、音楽など多彩な表現によるパフォーマンス
- ③「場所と記憶・内山下」  
旧内山下小学校で演劇、音楽、映像等による「授業」を実施
- ④「天神MAM」  
岡山後楽館高校跡で現代美術の展示と食・農・生活に関するイベントを開催
- ⑤「出石廻り2012」  
後楽園の門前町 出石町にある店舗へアート作品を展示など
- ⑥「装」 岡山県立大学学生による県庁前広場へのテキスタイルアートの展示
- ⑦「めぐって、みて、かんじて、芸術回廊」  
岡山県立大学学生による参加型プロジェクト
- ⑧東日本大震災復興・東北応援事業
  - ・後楽園でのアート作品展示に東北出身作家を招へい
  - ・岡山から被災地へ手仕事を届ける会活動報告  
県内の作家達が被災地に作品を届けるプロジェクトの展示と活動報告
  - ・イーハトーブinルネスⅡ（11/11）：宮沢賢治が作った曲・詩の朗読と講演等

### 地域会場

- ①赤磐会場 「再生ー明日を見つめてー」  
開催場所：熊山英国庭園（赤磐市殿谷）  
開催日：平成24年11月10日（土）～11月25日（日）水曜定休  
主な事業：
  - ・県内外4名の作家による作品展示
  - ・宮城県リアスアーク美術館の学芸員 山内宏泰氏のシンポジウム（11/11）
  - ・国際色豊かなコンサートやワークショップ など
- ②玉野会場 「宇野港東山ビルー入居者募集中ー」  
開催場所：宇野港東山ビル（玉野市宇野）  
開催日：平成24年11月9日（金）～12月2日（日）金曜～日曜のみ開場  
主な事業：
  - ・東山ビルでの作品の展示、販売
  - ・カフェコーナーでの来場者との交流 など
- ③玉島会場 「出会いのアート in OKAYAMA」  
開催場所：遊美工房（倉敷市玉島中央町）  
展覧会会期：平成24年11月10日（土）～12月2日（日）火曜定休  
主な事業：
  - ・作品やコンセプトに共通性を持つ日独作家8ペア（16名）の展覧会
  - ・ドイツ作家の滞在制作（10/22～12/2）
  - ・日独作家によるシンポジウム（11/24・県立美術館） など